

ゆうきだより

ゆうき訪問看護ステーション

指定ゆうき居宅介護支援事業所



Vo.春号

2023.3 発行

発行責任者 広報係
宇佐美 堀内 (真)

はじめに

新型コロナウイルス感染症との付き合いも3年となりました。今年5月には季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げられることが決まり、以前の生活へ戻れることを嬉しく思う反面、皆様が安心して生活できるように感染対策を継続していかなければと気が引き締まる思いです。素颜でお会いするのはまだ先になりそうですが、いつでも笑顔を忘れず、利用者様・ご家族様の思いに寄り添いながら支援させていただきたいと思えます。

(文責：小林 友美)

指定ゆうき居宅介護支援事業所

指定ゆうき居宅介護支援事業所は、現在5名の介護支援専門員（内、主任介護支援専門員3名）が在籍しています。今年度からは、甲府地区に加え、富士川町・市川三郷町等にも支援を展開しています。「その人らしい生活を支援します」をモットーに、頑張っている私たちの普段の様子を今回は紹介させていただきます。



今年度からオンライン朝ミーティングを開始しました。毎朝、互いの顔と声を確認しながら情報を共有しています。在宅ワーク時にも活用しています。



今年も県介護支援専門員協会主催の新人研修から実務研修実習生を受け入れました。私たちが日々の業務を振り返る良い機会となりました。



事業所内で定期的に勉強会を開催しています。活発に意見を交換してケアマネジメントスキルを学んでいます。



勉強会の開催

看護の知識・技術の向上を目的に、毎月勉強会を開催しています。12月は緩和ケア認定看護師である田中美江看護師によるエンゼルケアの勉強会を行いました。死後に起きる身体の変化の特徴やその対応方法などの講義を受け、実際に人形を用いて演習を行い、エンゼルケアの方法について学びを深めました。今後もステーション一丸となって、看護ケアの確認や向上を図っていきます。



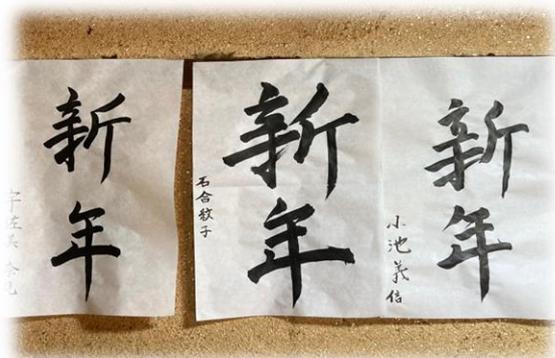
実習の様子と作品紹介



今年度もゆうき訪問看護ステーションでは看護学生だけでなく、認定看護師教育課程の学生、医療機関の看護師など多くの方が実習に来られました。コロナ渦の中、皆さんにもご理解とご協力をいただき、直接利用者さんと関わることで看護の学びを深めることが出来ました。いつもご協力をありがとうございます。

右の作品は作業療法の一環として、利用者様と担当看護師が一緒に取り組んだ作品の一部です。力強い文字に、新たな一年も頑張っていこうと、勇気が湧いてきますね！

※掲載した写真、個人名につきましては、ご本人の承諾を得ています。



2023年も始まり、あっという間に2ヵ月が経ちました。恐れていた最強寒波も過ぎ去り、温かい春が待ち遠しい限りです。まだまだ寒さも残るため、引き続き体調管理には注意していきましょう。

住所：甲府市住吉 1-15-23
電話：055-222-7448（訪問看護ステーション）
055-222-7443（居宅介護支援事業所）

